

本園の地域連携・地域交流

富士河口湖町立 勝山保育所

地域の行事を学ぶ ～茅の輪くぐりに参加して～

1. 目的と経緯

- ・ 保育所がある勝山地区の富士御室浅間神社にて毎年、7月1日に開山式・夏越の大祓式（茅の輪くぐり）に招待を受け年長児が参加する。新型コロナウイルス感染予防をしている期間は自粛していたが、ここ数年前より行事が復活し子どもたちも参加するようになった。
- ・ 地域に知れ渡る伝統行事を理解し、受け継いでいくために貴重な体験をする。
- ・ 参加すると同時に地域の方たちとの交流を行う。

2. 内容

- ・ 「茅の輪くぐり」とは、神社に設置された茅（ちがや）で作られた大きな輪（茅の輪）を8の字に3回くぐることで、半年間の罪穢れ（つみけがれ）を祓い、残りの半年を健康に過ごすための厄払い・清めの儀式であり家内安全を祈願する神事。
- ・ 儀式に参加
- ・ 茅の輪くぐりに参加



3. 成果と課題

- ・ 子どもたちは神主さんや地域の方々の話に耳を傾け、儀式のやり方を真似して真剣に取り組み、行事の意味を理解しようとしていた。
- ・ 地域の行事に参加することの大切さを知り、年長児として立派に役目を果たすことができた。
- ・ 水分補給など熱中症対策をしたが、待ち時間が長かったので参加の時間を見直す必要がある。